

心に残る文化財子ども塾 出雲市立平田小学校

1. 活動の概要

6月4日（火）、出雲市立平田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、パワーポイント資料を使って、ふるさとの歴史「古代の仏教と平田」についての解説を行いました。

その後、「奈良の大仏の巨大さと込められた思い」をテーマに、はじめに奈良の大仏についてクイズを交えて説明しました。つぎに実物大パネルを組み立て、大仏パネルの完記後に記念撮影などを行いました。

2. 活動の様子



「古代の仏教と平田」と題して、平田地域への仏教伝来や鰐淵寺の歴史について学習しています。



全員で協力して大仏パネルを作り上げています。

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- 大仏を作るのに12年もかけて大仏をつくるのがすごいと思った。
- 260万人もの人が協力したということがすごいと思った。
- 大仏パネルの完成を見て、大きくてびっくりした。
- 実物の大仏を見てみたいと思った。
- 平田でも重要文化財になるものがあると知っておどろきました。
- どんな道具を使って作ったのか知りたい。
- 大仏の中見がどうなっているのか知りたい。
- 日本中の大仏を比べてみたい。
- 発掘作業をしてみたい。
- 大昔にあんなに大きな物を作る技術があることにおどろいた。

② 担任の先生から

- 大仏パネルづくりに子どもたちも意欲的に取り組むことができ、大仏の大きさを実感することができた。
- 平田（自分たちの地域）についての情報が子どもたちにとっては新鮮でよかった。「教科書で学習したことがわが町でも」という思考は非常によかった。

③ 古代出雲歴史博物館から

パワーポイントやクイズでの学習、「大仏パネル」の体験を通じて、平田地域における仏教伝来や中心的寺院であった鱈淵寺の歴史や奈良時代や大仏について基礎的な知識を知るとともに、興味・関心を持ってもらうことができたのではないかと思います。

大仏パネルが完成してから、質問の時間を設けて大仏造立に関する解説をしましたが、時間の都合もあり、十分な解説をすることができませんでした。事前打ち合わせをもっと入念に行うことができれば、もう少し充実した内容にできたのではないかと思います。今後は解説で使うパネルや内容などを工夫して、さらに分かりやすくしていきたいと思っています。